

高二 古文

第十六回 小テスト

出題範囲 古文文法 助動詞

注意事項

- ① 質問があれば高木まで。
- ② 終了したならば、
提出して帰る。
- ③ 私語・カンニングは未受験。



STUDY COLLABO®

単語・文法小テスト

1 次の傍線部を現代語訳せよ。

1 大和琴（大和）にもかかる手ありけりと聞き驚かる。（源氏物語・若菜下）

1
（

2 所もなく、車も徒歩（徒歩）の人もありけむ。（大鏡・道長）

2
（

3 家の作りやうは、夏をむねとすべし。（徒然草・五五）

3
（

4 家（家）にありたき木は、松・桜。（徒然草・一三九）

4
（

5 世（世）の例にもなりぬべき御もてなしなり。（源氏物語・桐壺）

5
（

6 心（心）憂きものは世なりけり。いかにせまし。（堤中納言物語）

6
（

7 獣といへど虎、狼ならぬは住まざなり。（うつほ物語）

7
（

8 菊の花のうつろへるを折りて、男のもとへやる。（伊勢物語・一八）

（

氏名

点数

9 これは汝なんぢが髻もじりと思ふべからず。主しゅの髻もじりと思ふべし。
(平家物語・殿下乗合てんがのりあひ)

8

〔

〕

10 あるいは己おのが行かまほしき所ところへ往ぬ。
(竹取物語)

10

〔

〕

解答

1

〔たのだなあ〕

2

〔ただろう〕

3

〔のがよい〕

4

〔てほしい〕

5

〔きつとなるにちがいない〕

6

〔どのようにしようかしら〕

7

〔狼ではないもの〕

8

〔た〕

9

〔てはなら〕

10

〔たい〕